

## 富良野市山部地域の花卉球根農家におじゃましました

今回は、みなさんの家の花壇やプランターできれいに咲く花の「球根」を生産している農家の方をご紹介します。

富良野市の山部地域は、雨が多くて気温が低い気候ですが、それが球根栽培には適しているようで、その環境を生かして、現在、6戸の生産者が球根を栽培しています。

お伺いしたのは、祖父の代から40年近く球根栽培を続けている佐藤輝夫さんの農園。

佐藤さんが栽培している球根の品種は、ユリやジャーマンアイリス、アルストロメリアなど25～6種類にわたっています。



生産者の佐藤輝夫さん



ユリ球根ほ場



ユリの球根

まずは、球根を生産する上での主な作業を教えてくださいました。

主な作業	時期	内容
植え付け	5月上旬頃	4月末に届く種子球をほ場に植え付けます。
蕾取り	6月中旬頃	栄養分が球根に蓄積するよう、開花前に蕾を摘み取ります。また、種子球には、たまに異品種が混ざっていることがあるので、蕾を見て判断し、抜き取りをします。
掘り上げ	8月中旬～9月末	機械で茎ごと球根を掘り起こし、一つ一つ球根から茎を外します。
出荷		掘り上げた球根を選別して、消毒後、規格ごとに箱詰めして出荷します。

お伺いしたのは8月末。この時期は、ちょうど出荷作業の真っ最中でした。

お忙しい中、見学させていただいたのは、選別作業です。

掘り上げられた球根は、穴の開いた規格板に球根を一つ一つ当てて選別されます。

球根の形が丸とは限らず、扁平なものもあるので、目利きが必要になり、慣れないと簡単には選別はできません。

今年からは、馬鈴しょの選別機を試験的に導入しており、これで作業効率が上がれば、今後、作業の負担の軽減が図れるそうです。

規格外となる小さい球根があったときは、翌年に再度植え込みをして肥大させるそうです。

選別された球根は、消毒後にコンテナに詰められて出荷されます。おがくずを入れて梱包するのは、乾燥を防ぐためだそうです。



選別するための規格板



掘り上げた球根



選別機



おがくずで梱包された球根

佐藤さん達、山部の農家が生産した球根は、主にホームセンターで花壇用球根として販売されています。

来年、花壇に球根を植えるとき、そして、花壇の花がきれいに咲いたとき、その球根を生産している農家のことを思い出していただけると、うれしいです。

(平成25年8月取材 上川総合振興局農務課)